

常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査および議案、請願などを審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の3つの委員会を紹介します。

(◎印は委員長、○印は副委員長。平成29年5月22日現在)



写真向かって右から
井上 博行 板橋 聡 大島 道人 井上 順吾 中村 明彦 ◎西元 健 ○渡辺 美穂 川崎 俊丸 畑中 茂広 大塚 勝利 小河 誠嗣

総務企画地域振興委員会

総務企画地域振興委員会は、行財政対策、職員の定数・給与および勤務条件、財産の取得・管理および処分、防災対策、県行政の総合企画および総合調整、地域振興、ITの進展に伴う情報化の推進、交通政策、国際化の推進、地方税制などについて審査および調査を行っています。



写真向かって右から
平井 一三 秋田 章二 吉原 太郎 田中 久也 ○岳 康宏 ◎原中 誠志 佐々木 徹 岩元 一儀 田中 正勝 壹岐 和郎 江口 善明

厚生労働環境委員会

厚生労働環境委員会は、社会福祉事業の推進、社会保障制度の充実、援護対策、保健・医療ならびに環境衛生、自然環境の保全、中小企業などの労働福祉の推進、雇用・就業対策などについて審査および調査を行っています。



写真向かって右から
阿部 弘樹 塩川 秀敏 縣 善彦 今林 久 武藤 英治 ◎堤 かなめ ○西尾 耕治 守谷 正人 大田 京子 二宮 眞盛 梶島 徳博

県民生活商工委員会

県民生活商工委員会は、NPOなどとの協働の推進および生涯学習の振興、県民の文化およびスポーツの振興、男女共同参画社会の推進、安全・安心まちづくりおよび消費者政策の推進、中小企業振興、先端成長産業の育成、観光振興、企業立地の推進などについて審査および調査を行っています。

代表者会議

代表者会議は、議長・副議長および議会内で5人以上の所属議員を有する会派の代表者により構成され、議会の行事に関する事、議員定数に関する事、改選に伴う初議会の運営に関する事、その他議会運営上必要と認める事項などについて協議し、会派間の意見を調整するために設置されています。



写真向かって右から
林 裕二 (緑友会会長) 大橋 克己 (議会運営委員会副委員長 / 民進党・県政県議団) 吉村 敏男 (民進党・県政県議団会長) 守谷 正人 (副議長 / 民進党・県政県議団) 樋口 明 (議長 / 自民党県議団) 原口 剣生 (自民党県議団会長) 井上 順吾 (議会運営委員会委員長 / 自民党県議団) 森下 博司 (公明党団長)

議会運営委員会

議会運営委員会は、会期、議事日程、会期の延長・休会、特別委員会の設置・改廃、議会関係の条例や規則の制定・改廃など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、また、議長の諮問に定めるなど、議会の円滑な運営を図るために設置されています。(◎印は委員長、○印は副委員長)



写真向かって右から
梶島 徳博 (緑友会) 松下 正治 (公明党) 壹岐 和郎 (公明党) 今井 保利 (民進党・県政県議団) 仁戸田元氣 (民進党・県政県議団) 中村 誠治 (民進党・県政県議団) ◎大橋 克己 (民進党・県政県議団) ○井上 順吾 (自民党県議団) 松本 國寛 (自民党県議団) 中尾 正幸 (自民党県議団) 秋田 章二 (自民党県議団) 塩川 秀敏 (自民党県議団) 大島 道人 (自民党県議団) 板橋 聡 (自民党県議団) 片岡 誠二 (自民党県議団)

問い合わせ

福岡県議会事務局 調査課 ☎092-643-3832 ファクス092-643-3825
*福岡県議会ホームページでは、本会議情報、委員会情報、議員紹介などの掲載のほか、会議録の検索と閲覧、議会中継を実施しています。

福岡県議会ホームページ
携帯電話向けサイト

<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m/>

PC版⇒



携帯電話版⇒



平成29年7月九州北部豪雨災害からの早期復旧・復興に向けて！

県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。

本県および大分県を中心に記録的な大雨となった「平成29年7月九州北部豪雨」は、多くの尊い人命を奪い、住宅や事業所、道路、橋梁などに並ならぬ爪痕を残しました。また、農林水産関係施設、農産物、園芸作物などへの被害も甚大なものとなりました。今回の豪雨災害で亡くなられた方々とそのご遺族に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

県議会では、災害発生直後から、会派において災害対策本部を立ち上げ、迅速かつ正確な被害状況の把握に努めるとともに、7月10日から行われた各常任委員会においても、県行政各部からライフラインの復旧状況や支援体制の説明を受けるなど、早期復旧・復興に向けて取り組みを行っています。

県議会の動き



三連水車(朝倉市)の視察



比良松中学校(朝倉市)の視察



被災現場(朝倉市)での黙とう



崖崩れ現場(東峰村)の視察

現地視察

樋口明議長は、7月9日から複数回にわたり、朝倉市、東峰村を視察し、今回の豪雨による現地の被害状況を調査しました。また、各会派においても現地調査を行い、地元の方々との意見交換を行いました。今後とも、いただいた声をもとに、早期復旧・復興に努めてまいります。

国への緊急要望活動

7月12日に安倍晋三内閣総理大臣が被害状況の現地調査に來県された際に、樋口議長は、小川洋知事との連名で、緊急要望書を提出しました。このほか国土交通省、農林水産省などにも要望書を提出しています。主な内容として、災害復旧事業の早期採択、激甚災害の早期指定、農林業経営の継続に向けた支援、被災者生活支援などを要望しています。

全国都道府県議会 議長会定例総会

7月25日、第157回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、樋口議長が出席しました。

総会では、各委員会で審査された議案に加え、本県から提案し、役員会提出議案として提出された「台風第3号及び九州北部豪雨による災害に関する決議」について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

また、樋口議長は経済産業委員会副委員長として、和歌山県、長野県の県議会議長と共に、世耕弘成経済産業大臣などに対し、総会で決定された「平成30年度政府予算編成並びに施策に関する提言」を提出し、意見交換を行いました。



世耕経済産業大臣へ提言書を提出

九州・沖縄未来創造会議

7月18日、九州・沖縄未来創造会議のプロジェクトチーム(P.T)会議および総会が長崎市で開催され、本県議会から松尾統章議員、大塚勝利議員、吉武邦彦議員が参加しました。

P.T会議では、九州各県議会議長会から諮問された「九州・沖縄が一体となった海外戦略」について、「九州各県のアジア・国際戦略」や「2019年・2020年に向けた観光戦略」および「農産物の輸出戦略」に関するこれまでの議論を取りまとめた提言(案)を決定し、この提言(案)は、続いて開催された九州・沖縄未来創造会議総会で承認されました。内容は、2019年のラグビーワールドカップや2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を踏まえた観光客などの誘客への積極的な取り組み、海外事務所との共同設置など、5つの最重要項目を含む17項目に及んでいます。



第12回九州・沖縄未来創造会議

これらの提言は、8月23日に開催された九州各県議会議長会議で報告されました。

本県2件目！ 世界遺産に登録決定

7月9日、ポーランドで開催されたユネスコの世界遺産委員会において、県議会も力を入れて取り組んできた「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録が決定しました。

登録決定の瞬間は、宗像市の「海の道むなかた館」でインターネット中継され、出席した守谷正人副議長は会場に詰め掛けた関係者や地元住民の方々へお祝いの言葉を述べるとともに、「世界遺産登録は地元の関係者一人一人の長年にわたるため、まぬ努力が生んだたまものである」として深い敬意を表しました。



世界遺産登録決定！ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

海の道むなかた館(宗像市)

後、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界に誇れる遺産として、しっかりと魅力発信し、地域振興、地域の活性化につなげていけるよう取り組んでいきます。